

鹿角ゼロカーボンラジオ Nice Action!

第1回(10月15日(火)放送分)の概要

今日は第1回の放送ということで、最近よく聞くゼロカーボンや脱炭素、カーボンニュートラルの言葉について取り上げます。

実はこれらの言葉は大体同じ意味なのでした。新しい考え方で色々な言葉が使われている感じです。代表として「カーボンニュートラル」について説明します。

ニュートラルは「中立」、カーボンは「炭素」ということなので、空気中の炭素の量が増えも減りもしないといったことが、直訳的な意味となります。

ガソリンを使って車を走らせるとか、石炭といった原料を燃やして作った電気を使うといったことにより排出される、二酸化炭素などのガスの量と、森林などが育つことにより吸収される二酸化炭素などのガスの量が等しくなる状態、つまりニュートラルになる状態のことを言います。

二酸化炭素には、炭素という元素が含まれているので、カーボンという言葉が使われているということです。

なぜ二酸化炭素に注目しているかについてですが、二酸化炭素やメタンといったガスは、温室効果ガスと呼ばれ、大気中で熱を吸収する性質があります。このガスが大気中に増えると、太陽光で温まった地表の熱の多くがそのまま大気にとどまることとなり、大気の温度、つまり気温が上がることとなります。

これは避けたい状態であり、「大気中の二酸化炭素がこれ以上増えない」、つまり「大気中のカーボンが増加しないニュートラルな状態にする」ために、世界全体で多くの取り組みがなされています。

鹿角市でもカーボンニュートラルを実現すべく「ゼロカーボンシティ」を2022年3月14日に宣言しました。

具体的には、2030年までに市内でカーボンニュートラル・ゼロカーボンを実現するというものです。これは国の目標である2050年でのカーボンニュートラル達成よりも20年早いものとなっており、野心的な取り組みといえます。